

『SSHサイエンス教室』を開催しました

7月8日(土)、9日(日)の2日間、スーパーサイエンスハイスクール事業の一環として「SSHサイエンス教室」を開催しました。コロナ禍で、3年間公開での開催はできませんでしたが、生徒たちは創意工夫を重ね、仲間と協力しながらしっかりと準備をしてくれました。

実験を主体的に企画・実践してくれたのは自然科学部の生徒で、1年生10名、2年生10名、3年生11名の計31名が参加してくれましたが、今年度から初めて校内募集したサイエンスボランティアに16名が応募してくれました。当日になってHRや委員会の業務と重なり急遽参加できない生徒もおりましたが、結果とし1年生9名、2年生3名、計12名の生徒がサイエンス教室に参加してくれました。したがって、今年度は合計43名もの生徒がSSHサイエンス教室の運営に携わってくれたこととなります。

各サイエンス教室は盛況で、各サイエンス教室ともに引切りなしに来場されていたため、担当している生徒全員で対応しなくてはならず、カウントが間に合わないような状況でした。来場者の皆様には、サイエンスの楽しさを体験してもらえたと思います。

○活動の内容

物理の部屋「ロボット・ドローンのプログラミング」「水ロケット」「テンセグリティ構造」「偏向板ステンドグラス・ボックス」「各種物理現象の展示」

化学の部屋「炎色反応」「ゾウの歯磨き」「ヨウ化鉛の再結晶」「蛍光反応」「チンダル現象」

生物の部屋「DNAの抽出」「アミラーゼの実験」「光学顕微鏡での組織・染色体観察」

地学の部屋「プラネタリウム」「化石レプリカの彩色」

○活動の様子

物理の部屋



化学の部屋



生物の部屋



地学の部屋

